

安芸流域国有林の姿

(令和 6 年度)



【 日本の美しの森 千本山風景林 】



安 芸 森 林 管 理 署

〒784-0044 安芸市川北乙 1773-6

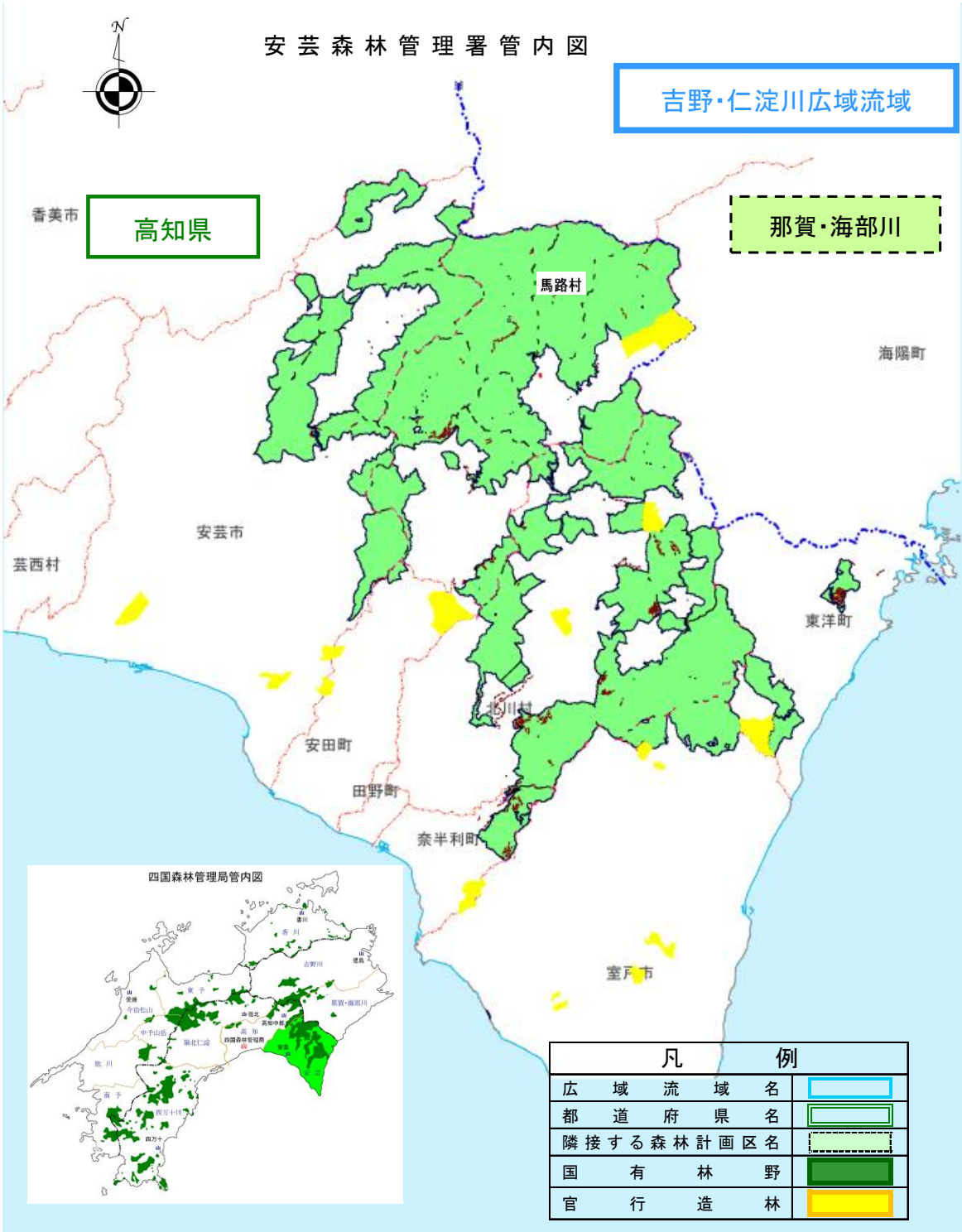
TEL : 0887-34-3145

E-Mail : shikoku_aki@maff.go.jp

管理経営の基本は公益的機能の維持増進

安芸森林管理署は、高知県東部に位置し安芸流域に広がる 29,021ha の国有林と 1,443ha の官行造林を管理経営しています。

管内には魚梁瀬スギを代表とする貴重な森林資源を有する千本山や、野根山街道風景林、西又山ブナ林といったレクリエーションの森があり、公益的機能の発揮が期待される森林地域です。



機能類型にふさわしい森林の管理経営を努めています。

安芸森林管理署は、国土の保全や水資源のかん養、自然環境の保全などの公益的機能の維持増進を重視した管理経営を推進しています。

このため、一つひとつの森林を、重点的に発揮させる機能によって（１）「山地災害防止タイプ」、（２）「自然維持タイプ」、（３）「森林空間利用タイプ」、（４）「快適環境形成タイプ」、（５）「水源かん養タイプ」の５つに類型化し、適切かつ効率的な管理経営に努めています。

機 能 類 型		面積 (ha)
山地災害防止タイプ		3,788
山地災害防止機能・土壌保全機能の発揮を第一とし、安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林		
内	土砂流出崩壊防備エリア	3,786
訳	気象害防備エリア	2
快適環境形成タイプ		0
騒音や粉塵等から地域の快適な生活環境の保全を図ることを重視する森林		
自然維持タイプ		702
原生的な森林生態系等貴重な自然環境の維持・保全を図ることを重視する森林		
森林空間利用タイプ		444
保健・文化・レクリエーション機能の発揮を第一とし、国民に憩いと学びの場や優れた自然環境を提供する森林		
水源かん養タイプ		24,087
良質な水の安定供給を確保し、根系や下層植生の発達を促すための適切な間伐の推進を図る、上記のタイプを除くすべての森林		

森林機能の維持増進のために多様な取り組みを進めています。

保安林の整備

土砂の流出、崩壊の防備や水源のかん養等の機能の発揮が特に求められる森林は「保安林」に指定し、良好な森林に整備しています。

保安林には、災害を防止するための「えん堤」を整備したり、崩壊地の植生を回復したりする「治山事業」の実施を推進しています。



〔魚梁瀬ダム周辺〕

保安林の種類	面積 (ha)	保安林の種類	面積 (ha)
水源かん養	25,902	土砂崩壊防備	203
保健	732	干害・潮害防備	153
土砂流失防備	716	計	27,174

(注) 保安林の計の面積は、保安林の種類ごとの重複を除く面積

レクリエーションの整備

人と森林とのふれあいの場を提供するため、風景林や自然観察教育林などのレクリエーションの森を設定し、森林とのふれあい環境を整備しています。

安芸森林管理署管内には、2箇所、268haのレクリエーションの森があり、皆さんに親しまれています。

【日本の美しい森 千本山風景林】

千本山風景林は、その優れた自然景観から全国で93箇所の「日本の美しい森 お勧め国有林」や、「中芸地域日本遺産～森林鉄道から日本一のゆずロードへ」の構成要素に指定されています。

令和3、4年度に遊歩道等の整備し、令和5年度についても案内看板等の整備を実施しました。



野根山街道（岩佐の関所）



整備した遊歩道

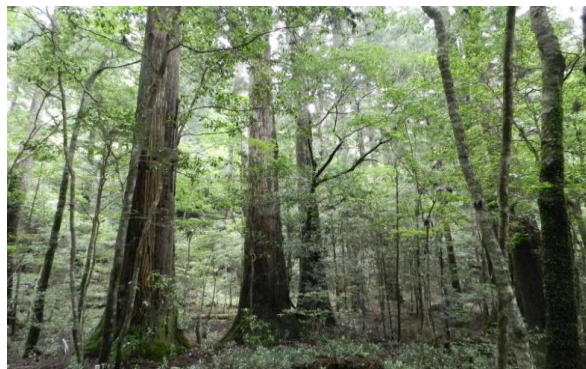
名 称	み どころ
千本山	天然杉を主体とする森林美
野根山街道	土佐藩の参勤交代路として利用した街道で道中に関所跡等数々の名所、史跡、伝説がありハイキングコースに最適

保安林の指定

国有林では、希少な野生生物が生育・生息する森林において、当該個体群の持続性を向上させ、遺伝資源の保護等に資することを目的とする希少個体群保護林を設定し、設定目的に応じた適切な保護・管理を行う。

安芸森林管理署の管理する国有林には、7箇所、333haの保護林、1箇所、18haの郷土の森があり、保護・管理が図られています。

〔千本山国有林 魚梁瀬スギ〕



千本山国有林 魚梁瀬スギ

名 称	特 徴 等
希少個体群保護林	
横荒山	モミ・ツガ天然林の遺伝資源の保存(横荒山国有林(安芸市))
雁巻山 千本山	高知県の樹である天然ヤナセスギの遺伝資源の保存(千本山国有林、雁巻山国有林(馬路村))
西の川山 魚梁瀬 安田川山	紀伊半島と安芸地方にのみ自生する希少な樹種であるトガサワラの遺伝資源の保存(西の川山国有林(安芸市)、千本山国有林、安田川山国有林(馬路村))
千本山	人工ヤナセスギ林の造成技術の発展・継承(千本山国有林(馬路村))

国有林特産樹種の素材供給

国有林の特産樹種である魚梁瀬スギや高齢級ヒノキなどの樹材種を計画的に供給しています。

また、神社仏閣等の建築用材として、特別の寸法の木材の供給に積極的に協力するために「文化財資源備蓄林」を指定しています。



文化財資源備蓄林(猿押山国有林)

シカ被害対策の取り組み

平成25年12月に馬路村と、平成30年8月に北川村と協定を締結し、囲いわな等の無償貸与、国有林の入林手続の簡素化、捕獲技術支援により、民有林と国有林が一体となってシカ被害対策を推進しています。これらの取組により、安芸森林管理署管内のシカ捕獲頭数は平成25年度当初は10頭でしたが令和5年度は110頭と、これまで、1,691頭のニホンジカを捕獲しています。



こじゃんと1号
(囲いわな)

流域を単位に民有林行政と連携した取組みを進めています。

流域管理の推進

地域における適切な森林整備や林業・林産業の活性化を図るためには、流域を単位として、民有林と国有林で協調しながら、計画を立て事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当する県や市町村と連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などを行っています。

また、民有林と国有林が連携を図ることによって、効率的な施業が実施できる地域において森林共同施業団地を設定し、共同で利用できる林業専用道等の整備や間伐に取り組んでいます。

市町村別面積内訳					(単位:ha)	
市 町 村	総面積(A)	国 有 林		民 有 林	合 計 (B)	森 林 率 % (B/A)
		国有林野	官行造林			
室 戸 市	24,822	926	128	20,531	21,585	87
安 芸 市	31,716	5,970	259	21,913	28,142	89
東 洋 町	7,402	802	186	5,403	6,391	86
奈半利町	2,837	551	102	1,495	2,148	76
田 野 町	653			299	299	46
安 田 町	5,236	55	244	3,956	4,255	81
北 川 村	19,673	9,122	171	9,338	18,631	95
馬 路 村	16,548	11,552	354	4,074	15,980	97
芸 西 村	3,960			2,931	2,931	74
総 数	112,847	28,978	1,444	69,940	100,362	89

※原数を四捨五入したものを計上しているため、集計値は一致しないものがある。

森林共同施業団地名称	市 町 村 等	面 積
北川村大谷地区	北川村(安芸流域林業活性化センター)	424.58
北川村島・久江の上・平鍋地区	北川村(安芸流域林業活性化センター)	862.03
奈半利町須川・室戸市羽根地区	奈半利町、高知東部森林組合、藤村製絲株式会社、高知水源林整備事務所、高知県森林整備公社	1,482.69

「国民の森林」にふさわしい開かれた管理経営を目指します。

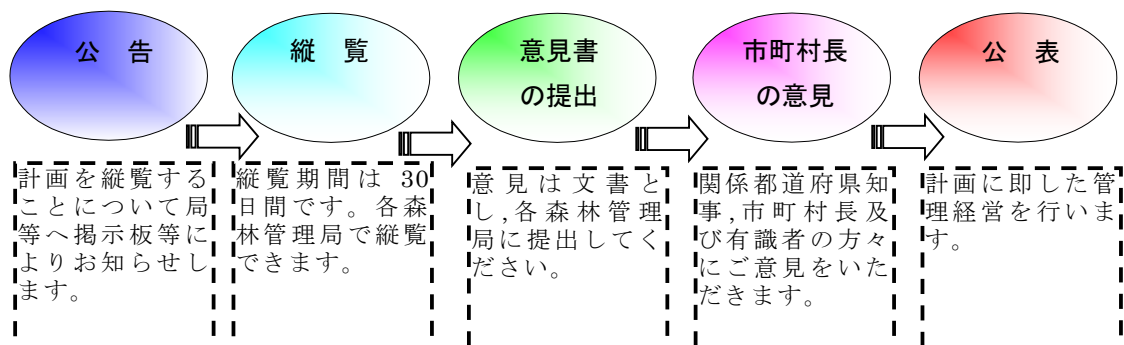
森林・林業に関する情報・サービスの提供

国有林の管理経営にあたっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆さんに開かれた管理経営を目指します。このため、森林計画の案の公表、意見の聴取や管理経営状況の公表をはじめ、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めます。

森林計画

国有林の管理経営は、地域管理経営計画などの計画に基づいて行います。
計画の策定の際には、公告、縦覧等により国民の皆さんや市町村などの関係行政機関のご意見を予めお伺いし、反映するよう努めています。

計画策定の流れ



国民参加の森づくり

国有林では、緑づくりに参加したい、地球環境の保全に貢献したい、という声に応じてボランティア活動等のフィールドを提供しています。

活動の場として「社会貢献の森」として、千ヶ谷森づくり事業、Jパワー地域共生の森「ふれあいの森」として北栃谷桑ノ木山を設定しています。



千ヶ谷国有林での活動の様子

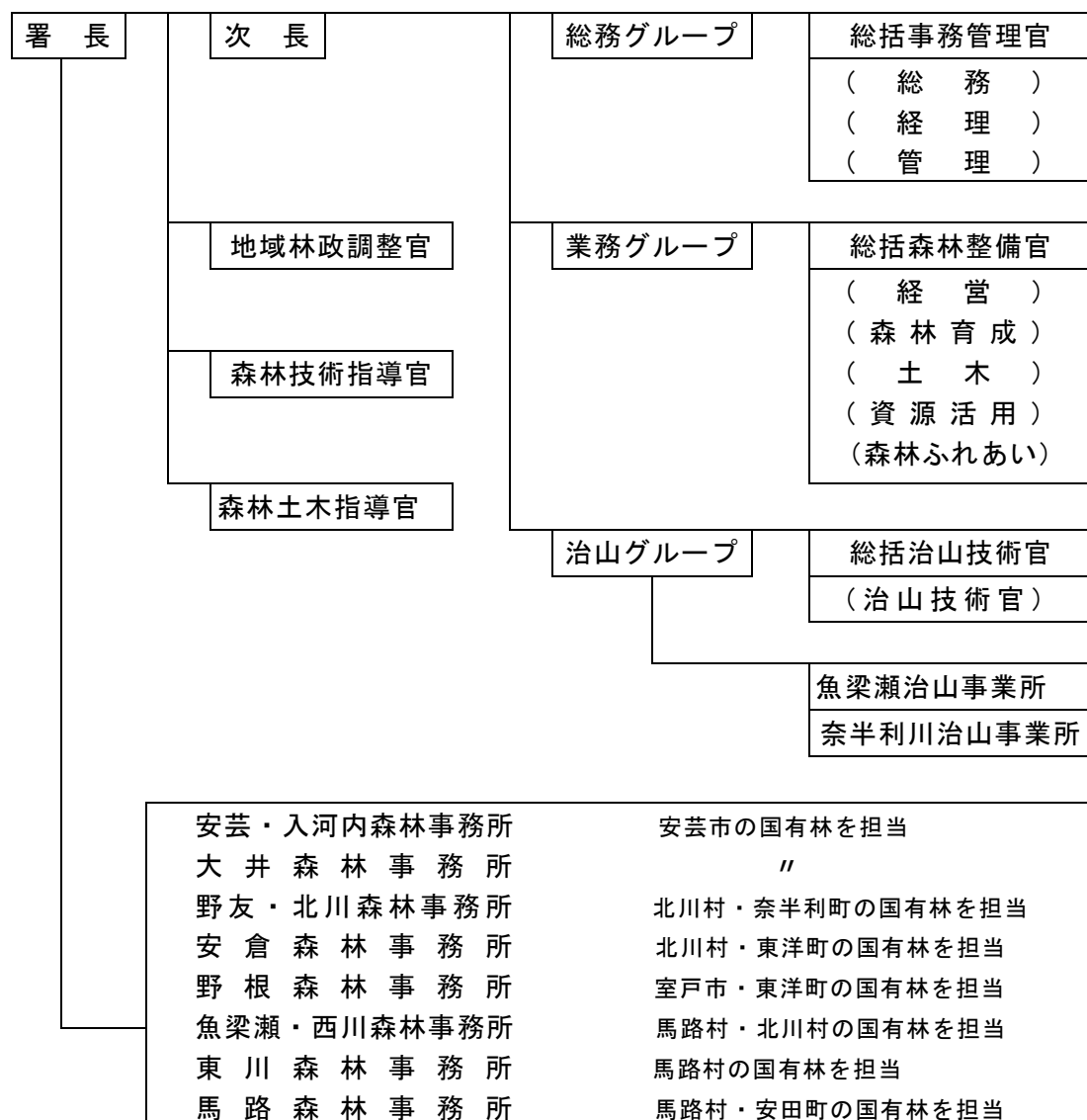
国民参加の森づくり

安芸森林管理署では、森林環境教育等の一環として、地域の皆さんが参加できる森林教室の開催などを通じて、森林・林業の普及啓発や水と緑の大切さなどのPR活動に積極的に取り組んでいます。



森林教室の様子

組 織 図



署 の 沿 革

- | | |
|----------|---|
| 明治17年11月 | 高知山林事務所安芸派出所として発足し、香美・安芸両郡管轄庁舎を安芸郡安芸町に設置。 |
| 明治19年4月 | 大小林区署官制制定。 |
| 明治26年6月 | 高知大林区署安芸小林区署と改称。 |
| 大正13年12月 | 営林局署制制定に伴い、安芸小林区署を安芸営林署に改称。 |
| 昭和33年3月 | 庁舎を安芸市矢ノ丸に新築。 |
| 平成11年3月 | 国有林野改革関連法の成立により安芸営林署を安芸森林管理署に改称。 |
| 平成13年8月 | 奈半利事務所を廃止し、安芸森林管理署へ統合。 |
| 平成16年3月 | 国有林野事業の抜本的改革により、魚梁瀬事務所を廃止統合するとともに庁舎を安芸市矢ノ丸から内原野へ新築し、平成16年4月、新たな組織体制の安芸森林管理署となる。 |
| 平成24年4月 | 平成23年7月の台風6号による被害を受けて民有林地域での治山事業を担当する奈半利川治山事業所を安芸郡北川村に新設。 |

令和6年度の管理経営の概要

管内の国有林

管内の国有林は、主として発揮させる機能の種類に応じて、国有林を5つのタイプに類型化し、それぞれの森林に期待される機能に応じた管理経営をします。

(単位:面積ha, 材積千m3)

機能類型	育成単層林		育成復層林		天然生林		林地以外面積	計	
	面積	材積	面積	材積	面積	材積		面積	材積
山地災害防止タイプ	1,503	497			2,069	287	216	3,788	784
土砂流出・崩壊防備エリア	1,501	497			2,069	287	216	3,786	784
気象害防備エリア	2							2	0
快適環境形成タイプ								0	0
自然維持タイプ	91	30			598	241	12	701	271
森林空間利用タイプ	141	52			274	62	29	444	114
水源かん養タイプ	20,211	6,739	177	65	3,000	446	700	24,088	7,250
計	21,946	7,318	177	65	5,941	1,036	957	29,021	8,419

森林整備と木材の安定供給

区分	収穫 (m³)			保 育 (ha)			
	主 伐	間 伐	計	地 拵	植 付	下 刈	改植 (地拵)
数 量	127,071	70,229	197,300	40	40	46	8
				除 伐	除伐Ⅱ類	保育間伐	改植 (植付)
				25	0	437	8

路網の整備

適切な森林の保安全管理等を効率的に行うために、林道等を整備します。

また、森林整備を円滑に進めるため、森林作業道等の整備を行っています。

なお、工事の施工にあたっては、木材の活用を積極的に進めています。

土砂の流出、崩壊の防備や水源かん養が特に求められている森林は保安林

に指定し、良好な森林整備を図るとともに、崩壊した森林の再生や山地災害を防ぐための施設等の整備

に努めています。

路 網 等 整 備

区 分	幅員 (m)	路線数 (本)	延長 (m)
森 林 基 幹 道	3.6		
森 林 管 理 道	3.6	1	160
林道災害復旧・改良	—	7	339

(箇所)

区 分	復旧治山	水源地域整備	保安林整備	災害復旧
国有林治山	5	—	2	—
民有林治山	7	—	—	—